

## 南風録

(2/28付)

長さ50センチほどのひもでつながった2人がグラウンドをさっそうと駆けていく。1人は目が不自由で、もう1人が安全のため一緒に走りコース状況を説明する。

鹿児島市の視覚障害者ランニング同好会「ブラインドランナーズ」代表の三雲明美さんが、還暦を過ぎた今なお続ける練習風景である。「私たちをランナーにしてくれる」。全盲の自身の競技生活に伴走者は欠かせない存在という。

中高年の引きこもりに求められる支援の姿を「伴走」と形容することがある。親の高齢化や生活困窮など変化していく環境に、ともに向き合っていかなければならないからだ。県内で設立された「かごしま8050ネットワーク」には、そんな粘り強いサポートが期待されている。

目指すのは、80代の親が引きこもる50代の子を養う親子の問題の解消だ。産学官民とさまざまな立場の有志が集う。それぞれのノウハウを生かして相談に乗り、必要な支援を提供していく。

40歳以上で引きこもり状態の人は県内に8000人以上いるとされる。当事者は家族で抱え込み、孤立しがちだ。新たな支援組織が社会への扉を開くきっかけになればうれしい。

三雲さんは「隣にいると感じさせないのが理想の伴走」と話す。深い信頼関係でつながっていればこそだろう。温かい伴走の輪が広がる社会でありたい。ネットワークの事務局は0994(37)5639。

7日間 無料試読	新聞 お届け先 変更	よむのび 教室	Felia!
見守り 活動	ビジネス 講座	投稿案内	イベント
採用情報			
			

▶ 新型肺炎(COVID19)ニュースまとめ

▶ 防災・災害情報/ハザードマップ

 潮見表	 火山ライブカメラ 新燃岳・硫黄山ほか
---	---

PR特集